

平成 26 年 1 月 24 日

名古屋産業大学
専任教員・非常勤講師 各位

教育研究センター
センター長 成田 暢彦

「学生による授業評価アンケート」の集計結果について

平成 13 年度後期から始めました授業改善のための「学生による授業評価アンケート」は、平成 25 年度で 12 年目を迎えました。これまでのアンケート結果をみますと、着実に成果が上がってきております。これもひとえに皆様のご協力によるものと感謝しております。

さて、平成 25 年度の秋学期のセメスターにおきましても 12 月第 1 週に皆様のご協力により「学生による授業評価アンケート」を実施させていただきました。結果がまとまりましたので、別紙の通りご報告いたします。

今回の結果を前年同期（平成 24 年度秋学期）と比較しますと、B 項目では 3 項目においてポイント評価が 4.0 を上まわっているものの、ポイント評価が下降している項目が多くあります。

また、平成 25 年度春学期と比較しますと、B 項目では B（9）「あなたがこれから社会に出るにあたって、あるいは専門の授業を受講するにあたって、この授業には何らかの形で役に立つ内容が多く含まれていましたか。」の 1 項目においてポイント評価の変化がありませんが、その他の項目についてはポイントが下降している項目が多くあります。

ポイント評価が全体的に下降している点をおおきく受け止め、改めて皆様と授業改善の工夫をおこなっていきたく考えます。

なお、学生自身のことについて問う A 項目については、A（4）「この授業を受けてみて、あなた自身がシラバスに記載されているこの授業の到達目標を達成したと思いますか。」においては、よりよい評価となってきておりますことをあわせてご報告いたします。

今回の結果をご参考にしていただき、ますますの授業改善に役立てていただければ幸いです。